

不祥事根絶に向けて

つくば市立真瀬小学校長 大久保 悦郎

学校教育は、児童、保護者及び地域の皆様の信用・信頼の上に成り立つものであり、教職員による不祥事は、その信用・信頼を失うことにつながることから、あってはならないことです。そこで、本校では不祥事防止とコンプライアンスの確立及び児童、保護者、地域の信用・信頼を高めるための教職員の意識改革と方策について、下記のように取り組んでおります。

記

1 研修の充実

不祥事防止をテーマとした教職員の企画立案によるボトムアップ型研修と指導や正しい理解を目指してのトップダウン型研修を組み合わせ実施しています。

- ・事例研修では、飲酒運転、不適切な指導、わいせつ行為、セクハラ、体罰、交通違反、データ漏洩、個人情報取り扱い、学校徴収金の不適切な処理など多岐にわたるテーマを取り上げています。
- ・校内コンプライアンス委員会を中心に年間計画を立てて、毎月全職員で一事例について、具体的な防止策を自分事として考え、話し合う機会を設けています。

2 自分事として捉えることができるよう事例などの確認と共有

不祥事関連の通知文や記事などを利用し、様々な事例を教職員全体で共有しています。

- ・不祥事の内容と対象職員の処分内容などについて県教委や市教委からの通知文や新聞などの記事で確認し、教職員が自分自身や自校で発生するリスクなどを考え、具体的な防止策を職員会議や校内研修の中で話し合っています。

3 定期的な確認と点検

不祥事防止のためのチェックリストを作成し、全職員で定期的に点検をしています。

- ・不祥事がなぜ起きてしまうのか、自分の行動や意識に問題はないか、などを自分自身で把握する必要があります。教職員が自分自身でチェックし自己啓発をすることが重要であると考え、チェックリストによって定期的に点検を行っています。

4 教職員への指導や支援

管理職による教職員との個人面談を重視し、悩みなどの解決のための支援を行っています。

- ・教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の要因になることも考え、管理職が教員評価面談や日頃の面談を通して、コミュニケーションをしっかりととりながら解決法を助言したり相談にのったりするなどきめ細かに教職員を支援しています。
- ・悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い勤務環境づくりに努めています。

5 学校の信用・信頼を高める取組

教職員の人権意識高揚のために、定期的に研修や意識確認を行っています。

- ・信用・信頼を高めるためには、不適切な指導の防止研修はもとより、一人一人の生徒を大切に、人権意識をもって適切に対応することが重要です。人権意識高揚のための研修やチェックリストの活用を日常的に行い、温かい人間関係づくりに努めてまいります。

真瀬小学校の教職員一人一人が高い倫理観をもつとともに、全教職員が一丸となって不祥事の防止に取り組んでまいります。